

2015 年度 関西学院大学自己点検・評価
 < C 票 > 第三者評価結果 【教育学部】

教育研究目標 1

1. 6 年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と 6 年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と 6 年後のめざす姿（目標）との関係性 （※ 6 年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 1 名	左記を選択した理由： ・ 「理論と実践を往還させたカリキュラム」を提供するという目標は、教育研究目標に対して、適切です。（評価者 B）
「具体的でない」 2 名	左記を選択した理由： ・ 「「子ども理解」を基礎に現代の複雑で困難な教育問題に向き合うことのできる「教育者」を育てる」というのが教育研究目標であるが、「複雑で困難な教育問題に向き合うことのできる「教育者」とはどのような資質・能力を持った人間なのかが分かりにくいように思います。その分析のもとで、そのような資質・能力を持たせるように目標が具体的に策定されるべきではないでしょうか。（評価者 A） ・ なお、C 票に記述された 6 年後の目指す目標自体はある程度具体的であるように思われます。（評価者 A） ・ 目標を設定した現状や背景について、もう少し明確な記載が望まれます。（評価者 C）
その他気づいた点：	
6 年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された 6 年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	< 評価者からのコメント > ・ 目標達成のためのカリキュラム改革が前提になってます。完全・完璧なカリキュラムというものはないと思いますが、現状の中で最善のカリキュラムを構築して、それに従って質の高い教育活動を展開し、目標を達成してください。（評価者 A） ・ 客観性の観点から、もう少し具体的な記載が期待されます。（評価者 C）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	< 評価者からのコメント > ・ 妥当だと思われます。（評価者 A） ・ 評価の指標を「採用者」とされています。しかし、目標では「「教育者」を育てる」となっていますので、現在の指標はプロセスについての指標になっています。プロセスだけでなく、アウトカムについての指標もあわせて設定されることが期待されます。（評価者 B） ・ 指標の信頼性の観点から、目指す「教育者」の育成を具体的に示せる指標が期待されます。（評価者 C）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	< 評価者からのコメント > ・ 適切だと思われます。（評価者 A） ・ 評価尺度と目標値の整合性に課題があるように思われます。（評価者 C）

教育研究目標 2

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 2名	左記を選択した理由： ・ 教育研究目標の文言が分かりにくいように思われますが、6年後の目指す姿（目標）は具体的で、分かりやすいものです。（評価者A） ・ 教育研究目標の性質上、めざす姿は抽象的になっていますが、目標との関係は明白です。（評価者B）
「具体的でない」 1名	左記を選択した理由： ・ 狙いの内容が教育研究目標1と同じになっています。（評価者C）
その他気づいた点： ・ 教育研究目標1との区別化が課題と思われます。（評価者C）	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部署の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<評価者からのコメント> ・ カリキュラム改革が前提であり、日常の教育活動の中で目標を達成しようとする姿勢は素晴らしいと思います。高い目標だと思えますが、いいカリキュラムを構築していただきたい。（評価者A） ・ 目標を設定した現状や背景についての記載が具体的ではないため、分かりづらいと思います。（評価者C）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<評価者からのコメント> ・ 概ね妥当だと思われます。但し、すぐれたカリキュラムが構築できたとしても、それが6年後の目指す目標を達成できるかどうかは、現場での教育活動にかかっていると思います。（評価者A） ・ 指標の信頼性の観点から、目指す教育の内容を具体的に示せる指標が期待されま す。（評価者C）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<評価者からのコメント> ・ 適切だと思われます。（評価者A） ・ 評価尺度と目標値の整合性に課題があるように思われます。（評価者C）